

岩手県花巻市東和町エリア  
美術情報ニュース no.30  
《隔月発行》

6  
2017年 月号

# 萬鉄五郎記念美術館

## KONOMA

# 木の間通信

絵本文学の世界へ

ようしよめい

# 葉祥明展

《会期》  
2017年  
6月24日(土) - 9月18日(月・祝)

《会場》  
萬鉄五郎記念美術館

《休館日》  
月曜日(月曜が祝日の場合翌日)

《開館時間》  
8:30 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

《入館料》  
一 般 600(550)円  
高校・学生 350(300)円  
小・中学生 250(200)円  
\*( )内20名以上団体料金

絵本作家の葉祥明は、『ぼくのべんちにしろいとり』(1973年)でデビューしました。以来40年以上、子どもから大人まで幅広く親しめる作品を描き続けています。



葉祥明《夢見るジェイク》(部分) 2015年

なかでも全国学校図書協議会

の推薦図書『地雷ではなく花をください』や、累計30万部を超える人気となった『おなかの赤ちゃんとお話ししよう』シリーズなど、葉祥明の作品に触れたことがある方も多いでしょう。オリジナルキャラクターも『白い犬のジェイク』をはじめ、オレンジ色のペンギン『ジェイムズ』、ファンタジックな『はちぞう』など楽しい仲間が増え、彼の世界を伝えるメッセンジャーの役割を果たしています。その内容は環境問題から自分探しなど様々ですが、一貫して「絵本を通して心の平和を届けたい」との想いが込められています。

本展覧会は、葉祥明の代表的な絵本原画を中心に約150点を紹介します。特に、宮沢賢治ゆかりの花巻市での開催にあたり、1987年に挿絵を描いた『やまなし』の原画を初公開します。

Logo design / 杉本吉武

## 丁字路

館長コラム

### シルエツト

萬鉄五郎は、美校卒業後に生活費を得るため「浅草に通っているうちにロートレックまがいのものを描き始め、浅草の魔女や玉乗りなどを画題にした仕事が一寸続いた」と『私の履歴書』に記している。そのときの作品《軽業師》が当館にある。

ゴッホと同様にロートレックは、日本への旅を夢に見たほど、浮世絵を通して我が国に憧れていた。11歳年上のゴッホとはコルモンの画塾で知り合い親しくなり、若い画家を支援していた画材商タンギー爺さんの所に共に出入りして浮世絵を集めていた。

19世紀末パリの繁栄の中に生まれた「商業美術」のポスターは、当初は芸術として認められていなかったが、ロートレックが制作したポスターで、その評価が高まった。一連の「ムーラン・ルージュ」のポスターは、それまで見たことのない斬新なアイデアにあふれ、人々の度胆を

抜いた。明解な輪郭線、鮮やかな平面的な色彩、大胆なデフォルメ、遠近法を無視した構図など浮世絵から影響を受けた。

モンマルトルの「ムーラン・ルージュ」はロートレックが最も愛した場所です、すぐに常連客になった。店主から制作を依頼されたポスター第一作《ムーラン・ルージュのラ・グーリュ》は、わずか27歳の時である。中央で足を高く上げるのは看板ダンサーのラ・グーリュ(大食いとおだ名された)、手前でシルエツトの上半身が、パートナーの曲芸師ヴァラタンである。しかも曲芸師を大きく、裁ち落しにしているのは、広重の《名所江戸百景》亀戸の梅の木から取り入れたものである。背景の観客も黒一色のシルエツト、また他のポスターでも舞台下のコントラバスや指揮者の手など、随所にシルエツトを使っているが、それまではヨ



ロートレック《ムーラン・ルージュ、ラ・グーリュ》1891年

ロッパで人物などをシルエツトで表現することはなかった。



歌川広重《近江八景之内 唐崎夜雨》

浮世絵の名所絵でシルエツトを多く使っているのが広重で、代表作《東海道五拾三次之内 庄野白雨》や《平塚縄手道》などは、行き交う旅人の背景の木々にシルエツトを用いている。また《近江八景 唐崎夜雨》に至っては、名木「唐崎一松」を画面全体に大きく存在感のあるシルエツトにしている。それと西洋にはない表現の雨脚も描かれている。

名門貴族に生まれたが、遊里に身を置き夜の世界に生きる人々を描いたロートレックは、『パリの浮世絵師』であつた。

萬鉄五郎記念美術館長 中村光紀

萬鉄五郎記念美術館 岩手県花巻市東和町土沢 5-135 Tel.0198-42-4402 8:30am. ~ 5:00pm.

yorozu00@cocoa.ocn.ne.jp http://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/501/503/p004177.html 月曜休館 (祝日の場合その翌日)

発行人 / 東和町土沢商店街商店会連絡会会長小原茂明



## 没後90年 萬鐵五郎展

《会期》4月15日(土)～6月18日(日)  
 《会場》萬鐵五郎記念美術館  
 《入館料》一般700(650)円、高校・学生400(350)円、  
 小・中学生300(250)円 ( )20名以上団体

萬鐵五郎(1885-1927)の没後90年を記念し、20年ぶりの大回顧展を、萬鐵五郎記念美術館と岩手県立美術館の2館同時開催。これまで最大級の作品数の萬鐵五郎展となります。

萬鐵五郎記念美術館では、あまり顧みられなかった萬の南画(水墨画)制作に焦点をあて、その造形性や表現性の変遷、同時代の油彩や水彩画との関係について展示しています。

萬鐵五郎《秋景農夫図》1923(大正12)年頃 紙本墨画 萬鐵五郎記念美術館

平成29年度 萬鐵五郎記念美術館 館長講座《絵画の見かたとその歴史Ⅳ》 <館長：中村光紀>

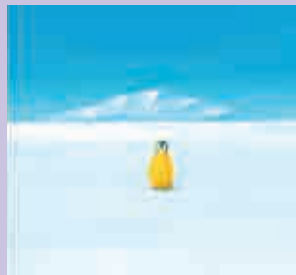
- 日時 第1回 6月10日(土) 13:30～15:00 「西洋近代美術と《萬鐵五郎》」  
 第2回 7月22日(土) 13:30～15:00 「世紀末パリの夜を彩った《ロートレック》」  
 第3回 8月26日(土) 13:30～15:00 「アールヌーボの華《ミュシャ》」
- 会場 花巻市東和図書館 視聴覚室(花巻市東和町安俵6区90) ●受講料 無料
- 問合せ・申込み先 萬鐵五郎記念美術館(電話 0198-42-4402)

### 「葉祥明展」関連事業

葉祥明 講演会 「私がめざす絵本と物語」(入場無料)  
 日時 7月23日(日) 14:00～15:30  
 会場 花巻市東和総合支所1階会議室(花巻市東和町土沢8区60)

葉祥明・ギャラリートーク [会場：萬鐵五郎記念美術館展示室]  
 日時 6月24日(土) 10:30～11:15  
 日時 9月10日(日) 14:00～14:45

葉祥明・サイン会 [会場：萬鐵五郎記念美術館ロビー]  
 日時 6月24日(土) 11:30～  
 日時 9月10日(日) 15:00～



葉祥明《オレンジ色のペンギン》(部分) 2003年

### 喫茶「八丁土蔵」

萬鐵五郎の自家「八丁」にあった土蔵を移築復元した、ギャラリーと喫茶スペースです。自慢のオリジナルコーヒー「蔵」と「八丁」を、ぜひ一度ご賞味ください。

《営業時間：10:00～16:00(ラストオーダー15:30)》

### 美術の街《土沢》 ギャラリー情報

萬鐵五郎記念美術館とあわせて、「美術の街」土沢のギャラリーめぐりをしてみませんか。



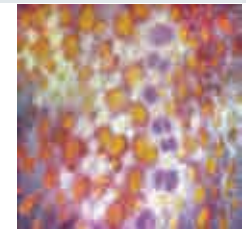
### 萬鐵五郎記念美術館 八丁土蔵ギャラリー

花巻市東和町土沢5-135 萬鐵五郎記念美術館内  
 9:00-16:30 月曜休(祝日の場合は翌日) 入場無料

### iwate コンテンポラリーアート vol.6 岡田卓也展

6/24(土)～9/18(月・祝)

「積層」をテーマに立体作品を多く手がけてきた岡田卓也。本展では「SEA SLUG」と名づけた平面作品のシリーズを紹介します。「色彩」と「線」を積み重ねた神秘的な絵画空間をお楽しみください。



### Gallery Space けやきラウンジ

花巻市東和町安俵6-90 東和図書館内 tel.0198-42-3205  
 10:30～18:00(最終日は16:00まで) 入場無料

### 金井保憲作品展

—そこから、ここから—

《会期》  
 5/4(日)～7/2(日)



### 野の花の会展

《会期》  
 7/2(日)～7/30(日)

盛岡の「野の花美術館」に絵画教室に集う生徒たちの小品展。



深沢紅子野の花美術館

### 土沢カフェ くるみ

花巻市東和町土沢8-115 <こつぼら土澤>内 tel.080-3334-3003  
 10:00～17:00 火曜定休 入場無料

### 平山朱子作品展

—記憶のかけら—

6/7(水)～7/3(月)



自然の中で生かされている私たち。  
 静ひつな版画作品のひとつひとつに、平和への祈りが込められています。

### 海野和男写真展

—蝶・舞う—

7/5(水)～8/14(月)

少年時代に蝶の飛ぶ姿に魅せられて、昆虫写真家に。  
 日本、マレーシア、カメルーンなど、世界の蝶の最新作。

